

平成24年度図書館ネットワーク専門委員会研究報告書

平成25年3月

埼玉県図書館協会 公共図書館部会
図書館ネットワーク専門委員会



「プリントアウト」
「コピー」「無料配布・貸出」
ができます。

利用の際は必ず下記サイトを確認下さい。
www.bunka.go.jp/jiyuriyo

目次

報告書刊行によせて	1
-----------	---

図書館ネットワーク研修会の記録

【講演】

「静岡県における相互貸借と市町立図書館支援 ～『おうだんくん』を活用して～」	3
(講師：静岡県立中央図書館 剣持 茂樹 氏)	

講演資料	15
------	----

【説明】

「相互貸借管理機能の御説明」	22
(説明者：日本電気株式会社 豊田 満 氏)	

説明資料	29
------	----

《質疑》	31
------	----

研究報告

「新たな埼玉県内公共図書館総合目録システム構築の研究（3） ～埼玉県版相互貸借管理システムの研究（2）～」	35
----------------------------------------------------------	----

平成24年度図書館ネットワーク専門委員会事業報告	39
--------------------------	----

平成24年度図書館ネットワーク専門委員会名簿	41
------------------------	----

報告書刊行によせて

埼玉県図書館協会図書館ネットワーク専門委員会の活動に、御理解と御協力をいただきありがとうございます。今年度の活動報告として「平成24年度図書館ネットワーク専門委員会研究報告書」を刊行させていただきます。ウェブ版報告書で刊行させていただきましたので、冊子版で必要な場合はダウンロードしてお使いくださるようお願いいたします。

高度化、多様化するリクエストという名の住民の要求に対して、自治体が単独ですべてに応じきることは不可能ですから、相互貸借の果たす役割が重要になってきています。

予算の不足を補完することが相互貸借の目的ではありませんが、自治体の苦しい運営状況においては、購入検討という自助努力にも限界があります。

埼玉県内の公共図書館等間の相互貸借は、貸出点数が年間21万点を超えており、全国的にみても活発に行われています。これは、協力車で資料が搬送されるという物流が確保されているからであり、埼玉県立図書館の御尽力によるものであることをこの場を借りて御報告いたします。

こうした中で、各図書館における相互貸借関連の業務量の増大と、効率化にむけた取り組みに伴う人的交流の希薄化、貸出点数と借受点数の不均衡から生じる潜在的な不公平感などの問題が表面化してきています。

図書館の使命の一つである資料保存の観点からも、ISBNが付与されていない資料の埼玉県内単館資料の保存や、各自治体の保存書庫の逼迫などへの対策が急がれるところです。

今年度の図書館ネットワーク専門委員会では、他の道府県で運用されている図書館システムの「相互貸借管理機能」を参考にして、埼玉県で導入する際の機能要件を検討してきました。

また、平成25年2月に開催した研修会では、SNS機能を備えた相互貸借システムを既に導入している静岡県立図書館の運用状況の講演と、図書館システムを開発しているベンダーによる概要説明を参考に、相互貸借管理機能の効果や埼玉県で導入する際の課題等を学ぶことができました。

施設設備と資料を駆使して住民の課題解決のお手伝いをするのが、図書館職員の使命といえますが、図書館のネットワークということを考えると、重要なのは資料のみではなく、情報・物流・人であることがわかります。

自治体財政の悪化という困難な状況の中で、図書館の運営形態は多様化していますが、図書館の役割と図書館員の使命は何ら変わるものではありません。人と本が会う場所としての図書館の可能性を考える一助になれば幸いです。

平成25年3月

埼玉県図書館協会 図書館ネットワーク専門委員会
委員長 長谷川清